

令和5年度 住まい環境整備モデル事業
【課題設定型・事業者提案型】
提案内容の概要

事業名称：多様な世帯の暮らしを支える共生社会実現のための
「地域交流施設」の整備事業

代表提案者：社会福祉法人 向陵会



社会福祉法人
向陵会



1. これまでの取組

社会福祉法人

第3乙訓ひまわり園（京都市西京区）で
障害福祉サービスとして

- ・就労継続支援事業（定員20名）
- ・生活介護事業（定員20名）



農福連携事業

- ・利用者 23名（知的障害者、精神障害者）
- ・農地（所有、利用権設定農地等） 11,480m²
- ・花壇苗、苺、マスカット、ニンニク、玉ねぎの生産、販売、加工
- ・就労支援事業収入 900万（R3年）→ 2,500万円（R4年）



住宅取組

- ・グループホーム 3か所、定員 延べ29床



2. 現状・問題意識

障がい者福祉

- ・就労を希望する障害者が多い
→ 福祉就労ができる場の確保
- ・親亡き後も引き続き住み慣れた地域で住み続けたい
→ 見守りができる居住形態の確保ができる仕組みの構築



子育て支援

- ・大原野地域における児童の人口割合が微増
- ・安全な子どもの遊び場が少ない
- ・子育て世帯が気軽に外出でき、コミュニティができる場



高齢者

- ・隣接するニュータウン居住者の高齢化 洛西NT 16.1%(H17) → 41.2%(R2)
- ・高齢化に伴う住宅の未活用

3. 提案内容

第3乙訓ひまわり園敷地内建物
(管理棟)
耐震補強必要

改修

多様な福祉世帯を支えられる
「地域交流施設」
として再整備



障害者の就労継続支援に必要な諸室機能

授産品販売所、商品開発研究室、共同作業室



子どもの遊びの広場機能

子育て支援のための遊び場（屋内遊具設置）、運動広場



カフェスペース機能

カフェ（子ども食堂利用）、テイクアウトコーナー

3. 提案内容

建築・空間計画のモデル性・工夫点

- **1階空間**
 - ・緩やかに諸室を繋げる → 利用目的だけに縛られない交流を図る
- **内装**
 - ・全体的に明るい色調 清潔感を演出
 - ・遊び広場などの内壁 天然木の腰壁 → 自然に触れることによるストレス回復 (バイオフィリア効果を伴う空間づくり)

主要改修箇所 現状写真



玄関ホール部分



遊び広場部分



カフェスペース部分



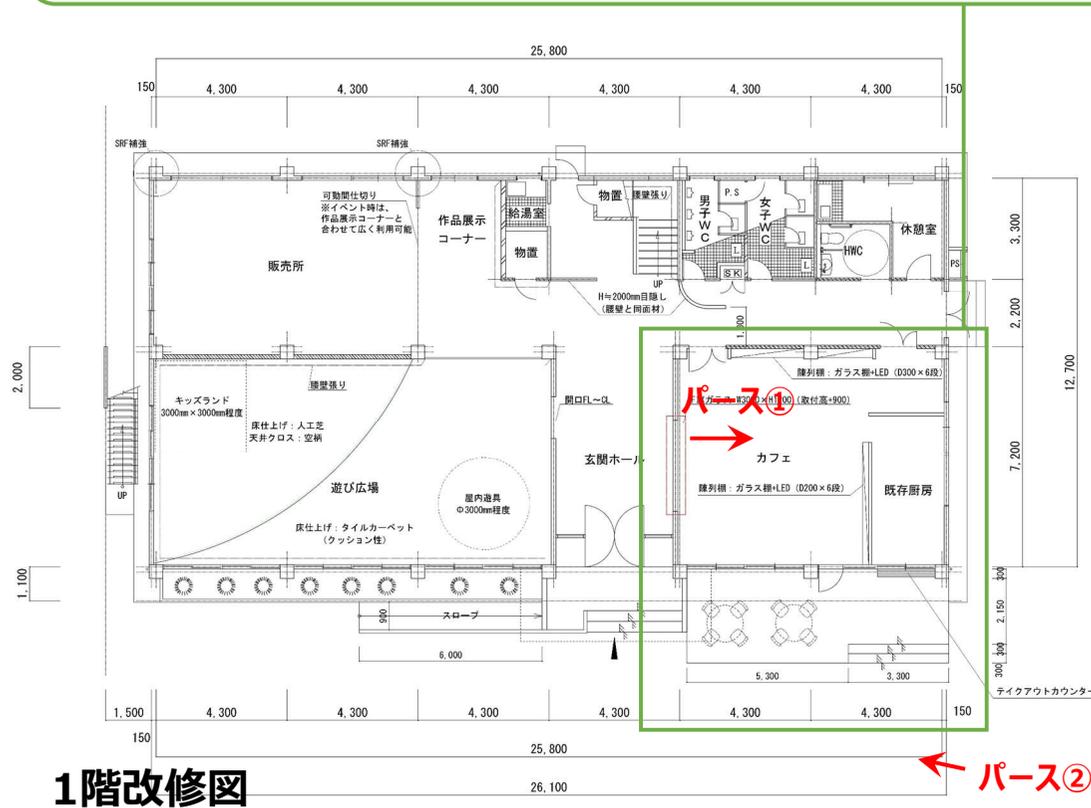
商品開発研究室部分



3. 提案内容

「カフェ・アプローチ」

- ・既存カフェのアプローチ側にテイクアウトコーナーを設置。
外部との繋がりを確保し建物内に入らなくてもカフェメニューの提供を可能とする。
これにより建物利用の気持ちの上での敷居を一段低くする。
- ・カフェの一部壁を開口し、ガラス越しに内部が見える様にする。様子を確認後に入店できる安心感を増やす。
- ・カフェ内部にはガラス板にて陳列棚を設け、照明計画と合わせ「魅せる」商品アピールを行う。
- ・スロープを設置し、多世代が安全に建物にアプローチできるようにする。



内観パース①「カフェ」

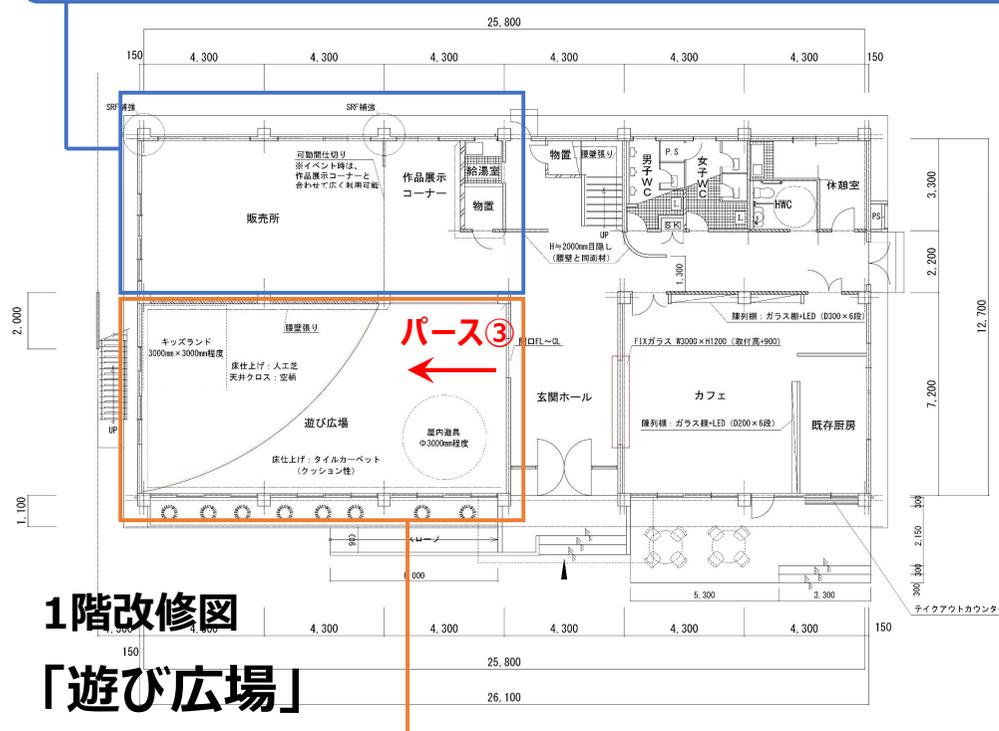


外観パース②「テイクアウト」

3. 提案内容

「販売所・作品展示コーナー」

- ・農福連携に取り組む当施設のイチゴをはじめとした様々な果物や野菜の販売スペースとすると共に施設や地域で製作された作品の季節やイベント毎の展示コーナーとする。
- ・お客様や地域の人々との交流を促し、作品制作への意欲向上にも繋げる。
- ・既存柱の耐震補強を行い建物全体の安全性能を高める。



1階改修図

「遊び広場」



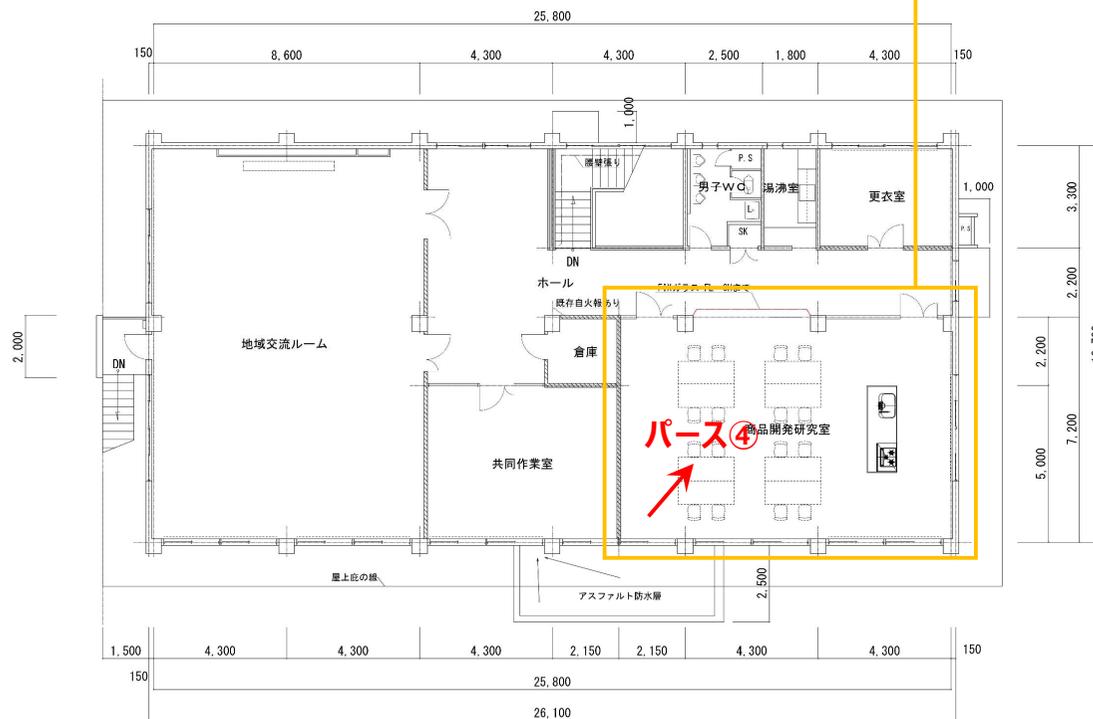
内観パース③ 「遊び広場」

- ・床仕上げを変え、靴を脱いでリラックス出来る場所とする。
- ・屋内遊具等を設置し、子供・子育て世帯が利用しやすい全天候型の遊び場とする。
- ・休日は一般に開放、平日は施設の子供の遊び場として利用・貸出する。
- ・空間の緩やかな繋がりにより、遊びに来たついでに販売所・作品展示コーナー・カフェの利用を可能にする。

3. 提案内容

「商品開発研究室」

- ・地元の高校を中心とし地域の高齢者にも参加してもらい新しい商品開発を目指す。
開発研究の共同作業やお互いの情報交換により多世代交流を促進する仕組みをつくる。
- ・ホール側壁を一部シースルーにする事で、来館者にも商品開発の様子が見られる様にする。
美味しいものを味わってもらうだけでなく、様々な活動（福祉や農業）への理解や興味を持ってもらう場ともなる。



内観パース④ 「商品開発研究室」

2階改修図

4. 期待される効果

多様な世帯の暮らしを支える

- ・就労を希望する障害者の働く場の確保
- ・季節や天候に左右されない就労環境の整備
- ・障害者の住宅ニーズを把握し、グループホームなどを整備
- ・子育て支援機能の整備、子どもの安全な遊び場、相談の場
- ・農福連携とマッチングした子ども食堂、地域食堂



福祉世帯を支え合える共生社会の実現

- ・障害者、高齢者による農業の担い手不足解消、優良な農地の保全
- ・地域の高齢者や農業系高校による農業普及技術の伝承
- ・関係機関、団体との連携による「気になる子育て応援相談」
- ・未活用な住宅ストックの活用とマッチングの仕組みを検討



5. 検証方法

ライフステージに応じた住宅ニーズの把握

- ・福祉課題のある世帯の住宅ニーズをハード整備に活かす
- ・面談によるアンケート調査
- ・アンケートの設計は専門家と協議



施設利用満足度の調査

- ・地域交流施設における取組の満足度を調査し、改善に活かす



社会的つながりに関する調査

- ・地域コミュニティの希薄化と連帯化を主題とし、地域交流施設を通じて行う多様な世帯の暮らしを支える、支え合えるという社会的つながりを解明する

